

令和 8 年度		防災行政無線設備保守点検業務委託		実施設計書		調 査	
						設 計	
委 託 番 号				委 託 場 所			
				胎内市 全域			
設 計 額		実 施 ・ 元		変 更			
		円		円			
契 約 額		円		円			
(内消費税額)		(円)		(円)			
委 託 日 数		委 託 日 数		日 間		委 託 日 数	
		又は 完成期限		令和 8 年 11 月 30 日		又は 完成期限	
				平成		年 月 日	
実 施 (元)		・共通設備通常点検 市役所：48V・13.8V直流電源、100V無停電装置、7.5KVA発電機、空調機、消防設備 乙中継局：48V直流電源、5KVA発電機、空調機、消防設備 スキー場中継基地局：48V直流電源、7.5KVA発電機、空調機、消防設備		変 更			
設計概要				設計概要			

# 委 託 費 内 訳 書

No. 1

区 分	種 別	細 別	実 施 元 設 計				変 更 設 計				適 用
			数 量	単 位	単 価	金 額	数 量	単 位	単 価	金 額	
共通設備	通常保守点検										
	点検労務費										
	親局設備	(市役所設備)	1	式							第1号明細書
	乙中継局設備		1	式							第2号明細書
	胎内スキー場中継局設備		1	式							第3号明細書
	旅費・交通費		1	式							
	技術管理費		1	式							
	直接費計		1	式							
	諸経費										
	消費税相当額		10	%							
	合計										

胎 内 市

# 共通設備通常点検 明 細 書

第 1 号明細書

名 称	形状寸法 長×巾×厚	員 数	単位 数量	単 位	実 施 元 設 計			変 更 設 計			適 用
					数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
1 親局設備（市役所設備）											
市役所電源設備											
48V 直流電源設備				式	1.0						
13.8V 直流電源設備				式	1.0						
100V 無停電装置				式	1.0						
7.5KVA 発電機設備				式	1.0						
空調機				式	1.0						
消火器設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
計											

胎 内 市

# 共通設備通常点検 明 細 書

第2号明細書

名 称	形状寸法 長×巾×厚	員 数	単位 数量	単 位	実 施 元 設 計			変 更 設 計			適 用
					数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
2 乙中継局設備											
乙中継局電源設備											
48V 直流電源設備				式	1.0						
5KVA 発電機設備				式	1.0						
空調機				式	1.0						
自動火災報知設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
誘導灯設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
消火器設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
計											

胎 内 市

# 共通設備通常点検 明 細 書

第3号明細書

名 称	形状寸法 長×巾×厚	員 数	単位 数量	単 位	実 施 元 設 計			変 更 設 計			適 用
					数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
3 スキー場中継局設備											
スキー場電源設備											
48V 直流電源設備				式	1.0						
7.5KVA 発電機設備				式	1.0						
空調機				式	1.0						
自動火災報知設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
誘導灯設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
消火器設備	機器点検・総合点検			式	1.0						
計											

胎 内 市

## 胎内市防災行政無線施設保守点検業務委託仕様書

### (1) 目的

本業務は、胎内市防災行政無線施設の保守点検業務を行い、設備を正常かつ良好に維持管理することにより防災行政無線設備として通信の確保や情報収集・伝達を円滑にすることを目的とする。

### (2) 業務場所

新潟県胎内市一円

### (3) 対象設備

以下に示された設備を対象とする。詳細は、別紙の共通設備「保守点検項目リスト」の通りとする。

#### 1 共通設備

- 1-1 親局設備（市役所設備）
- 1-2 乙中継局設備
- 1-3 胎内スキー場中継局設備

### (4) 業務内容

胎内市防災行政無線設備の保守点検業務を行う。詳細は、別紙の共通設備「保守点検項目リスト」の通りとする。

### (5) 安全管理

本業務の遂行に当たっては関係法令の遵守に努め、事故の防止等安全の確保に万全を期さなければならない。

### (6) 機材等の負担区分

本業務の遂行に必要な計測機器、工具等は受託者が負担するものとする。

### (7) 業務の実施

本業務は原則として平日（土曜日は含まない。）の日中に行うものとする。尚、止むを得ない事情により平日以外の作業を行う場合は監督員と協議して日程を定めるものとする。

(8) 点検整備記録

点検整備記録は別紙の共通設備「保守点検項目リスト」の点検項目を基に、点検・測定記録を作成し提出する。

(9) 業務実施状況写真

業務の履行確認は現地立会いのほか、写真で行うもので、設備ごとに業務実施状況がわかるように撮影し提出する。尚、設備に不具合があった場合は必ず写真撮影を行う。

# 共通設備

# 保守点検兼結果報告書（空調機器）

下記の通り点検結果をご報告申し上げます。

		様	ご確認印	点検月日			
				天候		外気温	
		[冷房] 始	中間	終	[暖房] 始	中間	終
設置場所及び階数		胎内市役所	乙中継局	スキー場中継局			
型名（室内機）		AIKAP803H	RAS401BDR	RAS401BDR			
型名（室外機）		ROAAP804HSJ	RAS401BADR	RAS401BADR			
機番	室内機	73200051	712B0426	806B0372			
	室外機	8.01E+25	712R0463	805N0515			
外装点検	1. 本体内外の点検清掃						
	2. エアフィルターの点検清掃						
	3. 熱交換器の点検清掃						
	4. 運転音の点検						
機能点検	5. 電源系統の点検（絶縁）	MΩ	MΩ	MΩ			
	6. 供給電圧（V）	RST平均	単相	単相			
	7. 運転電流（A）	RST平均	単相	単相			
	8. 冷媒圧力（高圧）	MPa	MPa	MPa			
	9. 冷媒圧力（低圧）	MPa	MPa	MPa			
	10. 本体吸込温度（DB）						
	11. 本体吸出温度（DB）						
	12. 温度差（DB）						
評価							
過去の履歴							
特記事項		停電自動復帰設定 冷暖自動 25℃ 自動	冷暖自動 27℃ 自動	冷暖自動 27℃ 自動			
記号内容 ○印：良 △印：要注意 ×印：修理又は交換の必要あり							

自動火災報知設備点検票					
名 称				防 火 管理 者	(印)
所 在				立会者	(印)
点検種別	機 器・総 合	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日		
点 検 者	資格 番号	点 検 者 所属会社	社名 TEL		
	氏名		住所		
点 検 名 設 備 名	受 信 機	製造者名			
		型 式 等			
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
予備電源・非常電源 (内蔵型)	外 形 示 表				
	※ 端 子 電 圧		V		
	※ 切 替 装 置				
	※ 充 電 装 置				
	※ 結 線 接 続				
受 信 機 ・ 中 継 器	周 囲 の 状 況				
	外 形 示 表				
	警 戒 区 域 の 表 示 装 置				
	電 圧 計		V		
	ス イ ッ チ 類				
	ヒ ュ ー ズ 類			A	
	※ 継 電 器				
	表 示 灯				
	通 話 装 置				
	※ 結 線 接 続				
	接 地				
	附 属 装 置				
	※火災表示等	蓄 積 式			
		ア ナ ロ グ 式			
		二 信 号 式			
そ の 他					
※ 注 意 表 示					
回 路 導 通					
設 定 表 示 温 度 等					
感 知 器 作 動 等 の 表 示					
予 備 品 等					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器	外	形				
	警 戒	未 警 戒 部 分				
		感 知 区 域				
	状 況	適 応 性				
		機 能 障 害				
	※	ス ポ ッ ト 型	差動 定温(再) 熱アナログ			
	熱 感 知	分 布 型	空 気 管 式			
			熱電対式・熱半導体式			
	器	感 知 線 型				
	※ 煙 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ			
		分 離 型				
	※	炎 感 知 器	赤外線 紫外線			
	※	多信号感知器・複合式感知器				
	※	遠隔試験機能を有する感知器				
発 信 機	周 囲 の 状 況					
	外	形				
	表	示				
	押 し ボ タ ン ・ 送 受 話 器					
	表 示 灯					
音 響 装 置	外	形				
	取 付 状 態					
	音 圧 等					
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動				
※	蓄 積 機 能					
※	二 信 号 機 能					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

自動試験機能	予備電源・非常電源							
	受信機の火災表示							
	受信機の注意表示							
	受信機・中継器の制御機能・電路							
	感知器							
	感知器回路・ベル回路							
総合点検								
同時作動								
※ 煙感知器等の感度 (自動試験機能を有するものを除く。)								
地区音響装置の音圧								
※ 総合作動 (自動試験機能を有するものを除く。)								
備考								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器				メーターリレー試験器			
	加煙試験器				炎感知器用作動試験器			
	外部試験器							
	煙感知器用感度試験器							
	減光フィルター							

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 7 票中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

消 火 器 具 点 検 票												
名 称							防 火 管 理 者	⑩				
所 在							立 会 者	⑩				
点検種別	機器点検		点検年月日		年 月 日 ~ 年 月 日							
点 検 者	資格 番号		点 検 者 所 属 会 社		社名		TEL					
	氏名 ⑩				住所							
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容				
			消 火 器 の 種 別								判 定	不 良 内 容
			A	B	C	D	E					
機 器 点 検												
設 置 状 況	設 置 場 所											
	設 置 間 隔											
	適 応 性											
	耐 震 措 置											
表 示 ・ 標 識												
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器											
	安 全 栓 の 封											
	安 全 栓											
	使 用 済 みの 表 示 装 置											
	押 し 金 具 ・ レ バ ー 等											
	キ ャ ッ プ											
	ホ ー ス											
	ノ ス 〆 ル ・ ホ ーン ・ ノ ス 〆 ル 栓											
	指 示 圧 力 計											
	圧 力 調 整 器											
	安 全 弁											
	保 持 装 置											
車 輪 ( 車 載 式 )												
ガ ス 導 入 管 ( 車 載 式 )												

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器の内部等・機能	本・体内容器等	本体容器																	
		内筒等																	
		液面表示																	
	消火剤	消滅性状																	
		消火薬剤量																	
		加圧用ガス容器																	
		カッター・押し金具																	
		ホース																	
		開閉式ノズル・切替式ノズル																	
		指示圧力計																	
		使用済みの表示装置																	
		圧力調整器																	
		安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)																	
		粉上り防止用封板																	
		パッキン																	
		サイホン管・ガス導入管																	
	ろ過網																		
	放射能力																		
簡易消火用具	外形	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	水量等	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
備考																			
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名											

器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

## ミニUPS点検記録

UPS形式		製造番号		御使用開始年月	
蓄電池形式		製造番号		周囲温度	℃
オプション		製造番号		点検日	
設置場所		用途		点検者	

No.	項目	内容	判定基準	結果	判定		
1	運転状態の確認	表示灯の点灯状態	正常運転状態であること	点検前	点検後		
		交流入力電源	入力電圧	定格 単相 V ～ V以内	点検前(R-S)	点検後(R-S)	
			入力周波数	定格 Hz ～ Hz以内	点検前	点検後	
		交流出力電源	出力電圧	定格 単相 V ～ V以内	点検前(U-V)	点検後(U-V)	
			出力周波数	定格 Hz ～ Hz以内	点検前	点検後	
		直流出力電圧	V (25℃) ～ V以内	点検前(P-N)	点検後(P-N)		
		負荷電流	定格電流値以下であること	点検前	点検後		
2	設置環境の確認	じんあい・振動・換気・保有距離	/				
3	各部締付確認	ボルト・ナット・ビス・コネクタの締付	緩み・接触不良がないこと				
4	外観目視確認	盤内外の構成部品・蓄電池の状態	変形・亀裂・発錆・キズ・変色・腐食・異音・異臭・異常温度がないこと				
5	清掃	盤内外のじんあい・汚れの除去	/				
6	停電・復電の動作確認	模擬停電状態にて、バックアップ運転を確認する	ブザー鳴動	回路図通り動作すること			
			表示灯の状態	回路図通り動作すること			
			出力電圧	定格 単相 V ～ V以内		V	
			出力周波数	定格 Hz ～ Hz以内		Hz	
7	給電切換動作確認	バイパススイッチによる切換	回路図通り動作すること				
8	蓄電池使用年数	取替時期の目安(25℃)	期待寿命 ～ 年	年 月			
所  見  欄							
	< 蓄電池の寿命は、ご使用環境下の周囲温度等により変化します >						

年 月 日

殿

直 流 電 源 装 置 点 検 報 告 書

実 施 月 日 自 年 月 日  
至 年 月 日

实 施 責 任 者

⑩

# 整流器

設置場所: \_\_\_\_\_ 用途: \_\_\_\_\_

型名: \_\_\_\_\_ 製造番号: \_\_\_\_\_ 製造年月: \_\_\_\_\_ 製造社名: \_\_\_\_\_

点検項目	点検個所	基準・許容	条件	測定値	結果	考察
盤面表示状況	デジパネ表示 記号: 記号: 異常: 無. 有.		記号: 記号: (内容			
交流入力電圧	定格: 単相. 三相. AC入力端子台でテスターで測定し、 定格入力との差異が無い事を確認する。 異常: 無. 有.		±10%  (内容	R:S.. S:T.. R:T..	V V V	
浮動充電電圧	デジパネ表示 盤面計指示値が基準計指示値と差異が無いか。 蓄電池端子にても基準計で測定する。 基準: 許容: 異常: 無. 有.	V		指示値: 基準値: 測定値:	V V V	
整流器出力電流	デジパネ表示 指示値安定し蓄電池への充電余裕があることを確認する。 指示値変動時は負荷の内容を総合し判断する。 異常: 無. 有.	A		指示値:	A	
蓄電池電流	デジパネ表示 (浮動充電安定時は、ほぼ 0Aとする。判 定: 使用状況を総合し、放電側指示でないこと。 異常: 無. 有.	A		指示値: 判 定:	A A	
連続負荷電流	デジパネ表示 (浮動充電安定時の整流器出力電流は、判 定: ほぼ負荷電流と見る。) 負荷の内容と指示値を総合し、蓄電池への余裕があること また負荷電圧低減装置通過電流はその定格値を超えないこと 定格電流容量: 異常: 無. 有.	A		指示値: 判 定:	A A	
連続負荷電圧	デジパネ表示 (該当負荷端子台で測定する。) 連続負荷計端子台にて基準計で測定し定格範囲内かを確認する。 定格電圧: 整流器運転状況・・ 浮動充電・均等充電 異常: 無. 有.	V		指示値: 測定値:	V V	

点検項目	点検個所	基準・許容	条件	測定値	結果	考察
保護充電電圧	デジパネ表示 蓄電池温度上昇に伴い過充電防止の為、充電電圧を自動的に減少させる。整流器出力ブレーカー1次側端子で確認。	V 基準： 浮動充電電圧の4%減少した電圧 許容： 異常： 無. 有.		指示値： 測定値：	V V	
盤面外観点検	函体外面、盤面計器、表示灯等の汚損、損傷を目視確認する。	異常： 無. 有. (内容				
盤内各部品 目視点検	盤内各部品の汚損、損傷、過熱、変色、異臭、異音の有無を確認する。	異常： 無. 有. (内容				
清 掃	埃の付着、汚れの多いとき清掃する。	清掃:実施 実施せず				
増 締	盤内の導体、モジュール、接続部、組付け部の緩みを点検する。 増し締め： 実施 実施せず	異常： 無. 有. (内容				
絶縁抵抗測定	125Vメガーで測定する。 半導体類はクリップリード線で短絡する。	基準： 3MΩ 以上あること 異常： 無. 有. (内容	AC: DC: AC:	MΩ 以上 MΩ 以上 MΩ 以上		
直流電圧計 指示点検	デジパネ表示 浮動充電時の盤面計指示値が基準計指示値と 差異が無いか確認する。	V 異常： 無. 有. (内容	盤面計指示値： 基準計指示値： 較 正： 有 無	V V		
整流器出力 電圧調整範囲	無負荷運転で各電圧調整器の0～100目盛の電圧変化を 基準計で測定し銘板の電圧を許容する事を確認する。 浮動調整： 定格・・ V 測定・・ 均等調整： 定格・・ V 測定・・ 手動調整： 定格・・ V 測定・・ 非常手動： 定格・・ ～ V 測定・・ 可変抵抗器の摺動部接触不良に注意！	異常： 無. 有. (内容		～ ～ ～ ～	V V V V	

点検項目	点検箇所	基準・許容	測定値結果	考察
垂下電流の確認	デジパネ表示 定格電流: 整流器の運転を一時停止して、実負荷電流により蓄電池を少し放電させた後 整流器の運転を再開し、最大出力電流が定格の100~120%の範囲内であることを確認する。 異常: 無. 有. (内容	A 制御範囲	指示値: A 再調整: 無・有	
回復充電動作	整流器出力スイッチはOFFで、AC入力スイッチを一次断にし再投入する。 自動的に均等充電制御となり、約15秒後(又は均等タイマーの設定後)浮動充電制御に移行することを確認する。 異常: 無. 有. (内容			
均等充電 タイマー動作	タイマ設定時間を最短時間に設定し、均等充電を開始する。 時間経過後、確実に浮動充電に移行することを確認する。 異常: 無. 有. (内容			
連続負荷系 電圧低減装置	電圧低減装置の出力電圧が定格電圧範囲内にあることを確認する。 定格・・ V 電流容量 測定・・ 浮動電圧→ (負荷電流 A) 均等電圧→ - V(負荷電流 - A) 負荷電圧範囲設定・・ L: V H: V 異常: 無. 有. (内容			
電磁接触器動作	用途・・ 記号・・ 停電にて接触器が動作するかを確認する。 異常: 無. 有. (内容			
ランプテストと 警報回路動作	ランプテストスイッチを操作して点灯確認するか、又は表示内容を作動させ点灯を確認する 異常: 無. 有. (内容 警報表示項目・・ 異常: 無. 有. (内容			
予備部品 附属品	品名、定格	数量	品名、定格	数量
	ヒューズ		防錆剤	
	蛍光灯		テスター	
	グローランプ		はけ	
	トルクレンチ		補修塗料	
	スパナ		防虫網	
	L型レンチ			

点検項目	点検個所	基準・許容	測定値結果	考察
設定値 運転状況	浮動電圧・・	V (蓄電池端子にて測定する。)	(調整器: 目盛)	
	均等電圧・・	V (蓄電池端子にて測定する。)	(調整器: 目盛)	
	垂下電流・・	A	(調整器: 目盛)	
	負荷電圧・・	V →浮動時. 均等時		
最終確認	デジパネ表示 充電器出力 ランプ表示 LED点灯 受電 LED点灯浮動充電	(数分後消灯) 整流器運転		

備考

# 蓄電池

設置場所: \_\_\_\_\_ 用途: \_\_\_\_\_

型名: \_\_\_\_\_ 製造番号: \_\_\_\_\_ 製造年月: \_\_\_\_\_ 製造社名: \_\_\_\_\_

容量: \_\_\_\_\_ Ah (10時間率) 公称: \_\_\_\_\_ V ( \_\_\_\_\_ V 電池 \_\_\_\_\_ 個)

点検項目	点検個所	基準・許容	条件	測定値	結果	考察
浮動充電 総電圧	蓄電池端子にて基準計で測定する。			測定値	・・	V
	基準・・ 許容・・			再調整	・・	無 有 に調整
	範囲を外れるときは、充電装置の点検結果と総合して基準値になるように調整する。 異常: 無. 有. (内容 浮動充電電圧微調整)					
単電池電圧	各セル端子にて基準計で測定する。			各セル測定値は	別紙	参照
	基準・・ 許容・・			低い例:		V V V V
	異常: 無. 有. (内容					
蓄電池内部 抵抗測定	各セル端子にて基準計で測定する。			各セル測定値は	別紙	A参照
	警告判定値 寿命判定値			高い例:		mΩ mΩ
	上記測定結果で警告判定値以上のものが1個以上ある場合、 又は上記判定値以下であっても抵抗値のばらつきが正規 分布から外れているものがあつた場合には、精密点検が必要です。 異常: 無. 有. (内容					
蓄電池温度 測定	蓄電池温度、室内温度を測定する。			各セル測定値は	別紙	参照
	許容最高蓄電池温度・・50℃ 各セル年平均温度25℃以下が望ましい			蓄電池温度測定 室内温度測定	℃ ℃	平均:
	異常: 無. 有. (内容					
外形状況	電槽、蓋、封口部、栓体、パッキン、等に変形、損傷、漏液、等の有無を目視により確認する。 異常: 無. 有. (内容					

点検項目	点検箇所	基準・許容	条件	測定値	結果	考察
電解液 比重	吸込比重計を用いて測定する。 基準・・・℃で( ± )	20℃換算で	低い例: No. ..	測定記録は 別紙参照		
	許容・・・20℃で		低い例: No. .. 高い例: No. .. 高い例: No. .. 範囲を外れるもの.. 無 ・ 有			
	全般に許容範囲を外れ、均等充電後も回復しない時や、 許容範囲内でも特定セルのみ他より大きく基準を外れて いるときは、電圧測定の結果を総合して別途措置をする。 (アルカリ蓄電池については標準セルのみ測定する。) (補水前に測定する)					
触媒栓状況	性能有効期限: 年 月 過熱経歴等による変形、損傷の有無を目視で確認する。 性能については、補水経歴と使用経歴を総合して判定する。 表示されている有効期限の過ぎているものは、使用蓄電池の期待寿命を総合して考察し、 必要あれば取替えるようにする。 異常: 無. 有. (内容: )					
内部状況	内部の状況を目視できるものについては、極板等内部構造品の変形、損傷、 脱落が無いか確認する。 異常: 無. 有. (内容					
端子接続板 状況	各セル端子接続部に、発錆、腐食等で導通不良、発熱が無いかを目視、接手で確認する。 異常: 無. 有. (内容					
収納部状況	架台、収納箱の汚れ、腐食、損傷の有無を確認する。 異常: 無. 有. (内容					
接続部増締め	各接続部を規定トルクで締付ける。 異常: 無. 有. (内容	作業・・・	実施.	実施せず		
警報 装置	液面	検出電極、リード線の状況	異常: 無.	有.	(内容	
		接続を開放し模擬低下とする	異常: 無.	有.	(内容	
	温度	センサ、リード線の状況	異常: 無.	有.	(内容	
		接続を短絡し模擬上昇とする	異常: 無.	有.	(内容	
清 掃	収納部、蓄電池外面の汚れを拭く 異常: 無. 有. (内容	作業・・・	実施.	実施せず		

備 考

# 蓄電池測定記録

別紙

形名:

設置場所:

容量:

/10時間率

用途:

室内温度

測定:

電池 番号	単電池電圧(V)	内部抵抗値 (mΩ)	蓄電池 温度(°C)	電池 番号	単電池電圧(V)	内部抵抗値 (mΩ)	蓄電池 温度(°C)
	浮動時				浮動時		
1				28			
2				29			
3				30			
4				31			
5				32			
6				33			
7				34			
8				35			
9				36			
10				37			
11				38			
12				39			
13				40			
14				41			
15				42			
16				43			
17				44			
18				45			
19				46			
20				47			
21				48			
22				49			
23				50			
24				51			
25				52			
26				53			
27				54			

……設備 発電機設備定期保守点検成績書

局名

点検日:平成 年 月 日 点検者:

天候

点検結果:

						承認			
エンジン	製造者名			形 式					
	製造番号			製造年月日					
	出 力			回 転 数			min <sup>-1</sup>		
発 電 機	製造者名			形 式					
	製造番号			製造年月日					
	容 量	kVA	電 圧	V	電 流	A			
	周 波 数	Hz	回 転 数	min <sup>-1</sup>	力 率	%			

A. 機器設備室内,エンジン及び附属装置点検(外観・機能)

点 検 項 目	作 業 内 容	判 定	備 考
設 置 場 所	周囲の状況		
	水の浸透、廃液、ウエス等の可燃物の有無確認		
換 気 の 状 況	自然換気口の状況確認		室温
	換気扇の状況		
排 気 管	変形、損傷等の有無		
	貫通部の点検		
	排気消音器よりドレン抜き確認		
照 明	照明の機能点検		
標 識 等	汚れ、損傷、脱落等の有無確認		
始 動 装 置	バッテリー点検		(別紙)
	セルモーター kW		
燃料容器等	種 類 軽 油		残量
	容 量		
	空気槽容量		
冷 却 装 置			

点 検 項 目		作 業 内 容	判 定	備 考
燃 料 油 系 統	噴射ポンプ	ネジ緩みの有無、作動の良否の確認		
	コシ器	ドレーン抜き、掃除		
	油水分離器	ドレーン抜き、掃除		
	燃料タンク	燃料の汚れ、劣化の有無確認		
		油量の確認		
		各部燃料もれの有無確認		
	給気フィルター	汚れ、劣化の有無確認		
潤 滑 油 系 統	機関潤滑油	汚れ、劣化の有無、交換時期の確認		
		油量の確認		
	コシ器	交換時期の確認		
	ガバナ	潤滑方式の確認、作動の良否確認		
	燃料噴射ポンプ	潤滑方式の確認、作動の良否確認		
		各部潤滑油もれ点検		
冷 却 水 系 統	ポンプ	作動の良否確認		
	温調弁	作動の良否確認		
	ベルト	張り及び劣化の点検		
	各ホース類	劣化及びもれの点検		
	ラジエーター	水もれの点検		
		不凍液の量、交換時期の確認		
	減圧水槽	汚れ、水量、ボールタップの作動確認		
	バルブ類	点検		
	冷却水ヒーター	作動の良否確認		
		各部水もれ点検		

点 検 項 目		作 業 内 容	判 定	備 考
始 動 空 気 系 統	空 気 槽	ドレーン抜き、もれ点検	/	
		安全弁の動作確認	/	
	空 気 圧 縮 機	動作確認、油量確認	/	
	配 管	空気もれ点検	/	
計 器 類	運 転 時 間 計	機付 Hr		前回運転時間 Hr
	運 転 時 間 計	盤付 Hr		前回運転時間 Hr
	主 機 回 転 計	Hz min-1		
	交 流 電 圧 計	V		
	潤 滑 油 圧 力 計	MPa		
	潤 滑 油 温 度 計			
	冷 却 水 温 度 計			

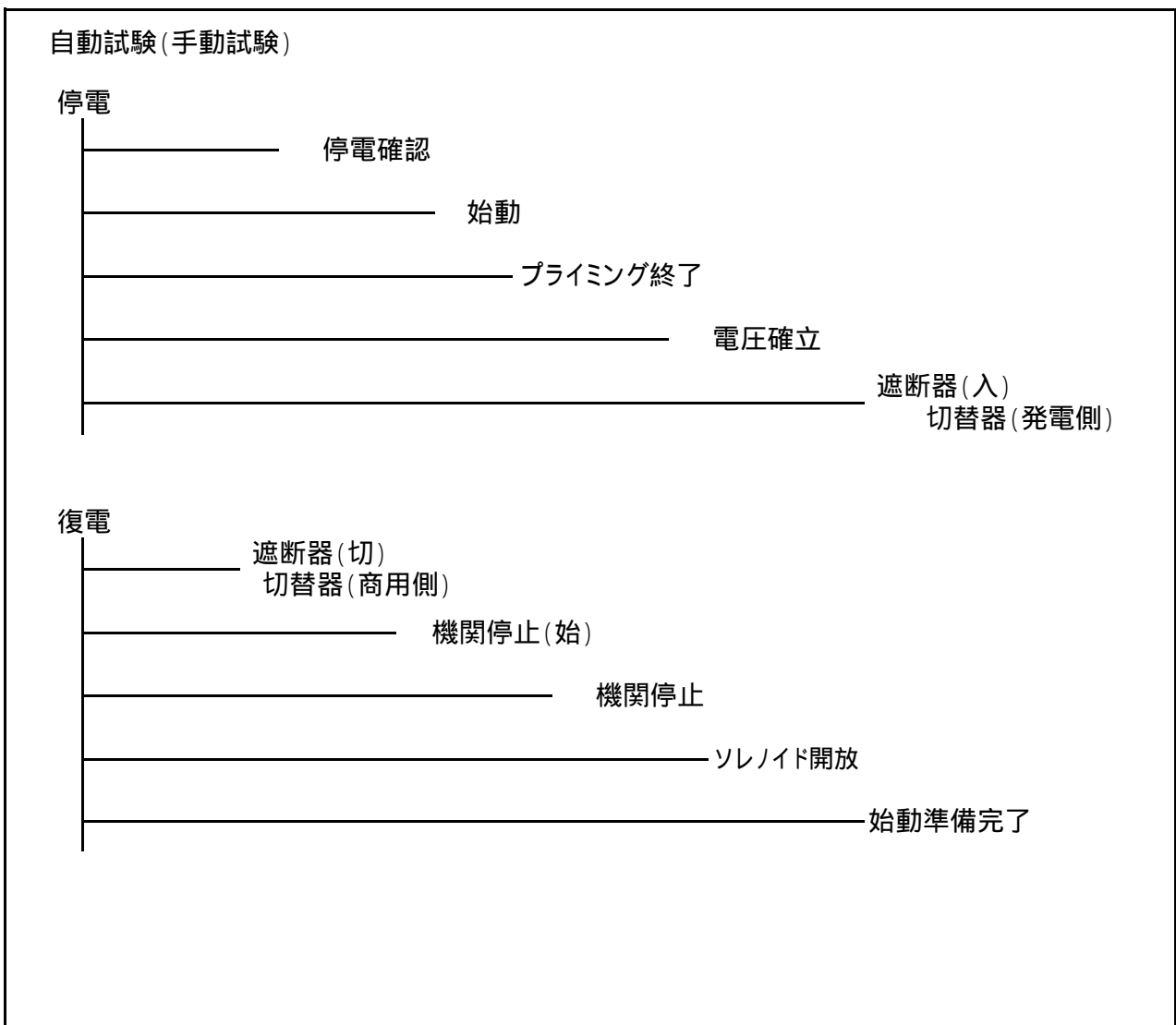
B. 発電機及び自動起動盤点検

点 検 項 目		作 業 内 容	判 定	備 考
発 電 機	ブラシ、スリップリング	磨耗、変色、接触の異常の有無	/	ブラシレス方式
	整 流 器	回転整流器、サージアブソーバの汚れ、変色の有無		
	軸受等の点検	軸受潤滑油量、汚れの点検	/	
		軸受グリスの点検	/	
発 電 機 ・ 自 動 起 動 盤	制 御 盤 型 式	確 認		
	表 示 等 類	汚れ、損傷、脱落等の有無		
	各 リ レ ー 類	動作点検		
	各 タイ マ ー 類	動作(時間)点検		
	ネ ジ 緩 み	点 検		
	各 ス イ ッ チ	点 検		
	各 ヒ ュ ー ズ 類	点 検		
	警 報 類	点 検		
	遮 断 器	点 検		

C. 始動用蓄電池設備

製造者名	形式	入力電圧		V	
容量	充電 (均等)	V	A	浮動	V A)
	1	2	3	4	
電圧					浮動
蓄電池 製造年月					

D. 動作試験 (単位:秒)



E. 保護装置試験

項目	設定値	機関停止	遮断機(断)	警報	表示	備考
1.潤滑油圧力低下						
2.冷却水温度上昇						
3.過速度						
4.発電電圧異常						
5.過電流						
6.非常停止						
7.始動渋滞						
8.燃料油面低下						
9.充電器異常						
10.操作遠方						
11.自動試験中						
12.発電機電源						
13.商用異常						
14.制御電源断						

F. 絶縁抵抗測定

測定場所	測定値	結果	備考
1.発電機主回路	M		
2.発電機界磁回路	M		
3.冷却水ヒーター	M		
4.換気扇	M		
5.モーターダンパー(排風用)	M		
6.モーターダンパー(吸気用)	M		

G. 架本体

作業箇所	作業内容	判定	備考
架上ボルト	増し締め		
架下ボルト	増し締め		

誘導灯及び誘導標識点検票										
名 称						防火 管理者			㊟	
所 在						立会者			㊟	
点検種別	機 器		点検年月日		年 月 日～ 年 月 日					
点 検 者	資格 番号		点 検 者 所属会社		社名		TEL			
	氏名				住所					
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容			
			種別・容量等の内容			判 定			不 良 内 容	
			避難口	通路	客席					
機 器 点 検										
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類								
		視認障害等								
		外 形								
		表 示								
	非常電源 (内蔵型)	外 形								
		表 示								
		機 能								
	光 源									
	点 検 ス イ ッ チ									
	ヒ ュ ー ズ 類									
	結 線 接 続									
	信号 装置等	外 形								
		結 線 接 続								
機 能										
誘 導 標 識	外 形									
	視 認 障 害 等									
	採 光									
	※ 表 示 面 の 輝 度									
	※ 設 置 場 所 の 照 度									
備 考										
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。  
 6 票中※印のあるものは、「誘導灯及び誘導標識の基準」(平成 11 年消防庁告示第 2 号)第五第三号(四)に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。